

(対象期間：2018/12/17～12/21)

**【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2018年12月21日)**

【株式市場】

週前半の株式市場は11月の貿易赤字額が予想を上回ったことや米株安を背景に利益確定売りが優勢となり下落しました。その後は割安感から買戻しが優勢となり上昇しました。週後半は米株安が市場の重石となる一方で、ルピア高や原油安への期待が交錯したことで一進一退となりました。セクター別では消費財、農業などが上昇した一方で、建設・不動産、鉱業などのセクターが下落しました。

2018/12/14	2018/12/21	変化率
6,169.84	6,163.60	-0.10%

**【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2018年12月21日)**

【債券市場】

週前半は11月の貿易赤字額が予想を上回ったことや米株安を背景に債券市場は弱含みでした。週半ばから後半にかけては、ルピアの上昇や米国の長期金利の低下を背景に10年国債利回りは低下傾向となりました。20日にインドネシア中央銀行(BI)は事前予想通り政策金利を据え置きました。10年国債利回りは週間で下落しました(価格は上昇)。

2018/12/14	2018/12/21	変化幅
8.118	7.978	-0.140

**【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2018年12月21日)**

【為替市場】

ルピアは対米ドルで小幅に上昇しました。週初の為替市場は11月の貿易赤字額が予想を上回ったことなどから弱含みでした。その後は買戻しが顕著となり、米株安を背景にドル安が進んだことから週半ばにかけてルピア高が進みました。週後半から週末にかけては利益確定売りが見られましたが、週間では対米ドルで上昇しました。一方で対米ドルで円高が進行したことからルピアは対円で下落しました。

2018/12/14	2018/12/21	変化率
0.7772	0.7618	-1.98%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ

181225 (01)